

令和8年度 自彊小学校 前期学校評価結果

自彊小学校では、今年度の重点目標「ともにかがやく」のもと、子どもたちの「主体性」や「他者意識」を育む教育活動を進めております。このたび、7月に実施いたしました学校評価アンケートの結果がまとまりましたので御報告いたします。御協力をありがとうございました。皆様からいただいた貴重な御意見をもとに、さらなる教育活動の改善に努めてまいります。

◎「学びつくり」の成果と今後の取組

【成果指標】 ☆学習した内容を理解している…85% ☆自分で課題を見つけ、解決している…85%

	質問項目	A	B	C	D
児童	授業の内容がよくわかる。	38.8%	50.7%	7.7%	2.8%
	自分で課題を見つけ、調べたり考えたりして解決している。	39.1%	44.9%	11.4%	4.7%
保護者	お子さんは学習したことが理解できている。	29.6%	59.5%	10.5%	0.4%
	お子さんは自ら課題を見つけて解決しようとしていたり、自分の興味・関心を深めようとしていたりしている。	19.5%	49.8%	23.7%	7.0%

※A…あてはまる・B…ややあてはまる・C…ややあてはまらない・D…あてはまらない

【成果】授業で「わかった！できた！」という実感の広がり

日々の授業の理解度について、児童は89.5%、保護者は89.1%が肯定的な回答であり、これは、学校と家庭の双方で目標値としていた85%を大きく上回りました。さらに保護者の皆様からの評価数値は、一昨年度、昨年度と比較しても継続して上昇傾向にあり、御家庭での温かい学習サポートが子供たちの確かな理解へと結びついていることを実感しております。

【課題】自分で問いを立て、解決していく力（主体的な学び）

一方で、「自分で課題を見つけ、調べたり考えたりして解決している」という項目では、児童の肯定評価が84.0%と、目標の85%にあと一步届きませんでした。また、保護者の皆様から見た同様の評価は69.3%に留まっており、児童自身の評価と保護者からの評価に大きな差があることも分かりました。

○課題の改善に向けた具体的な取組

①「できた！」を自信に（個別最適なサポートと温かい価値付け）

日々の小さな「できた！」を見逃さず、言葉にしてしっかり褒めることで、子供たちの確かな自信へとつなげていきます。

②「やってみたい！」を応援（主体的に学ぶ授業づくり）

子供たちが「やってみたいこと」を自分で見つけ、自分なりのめあて（目標）をもって主体的に取り組める活動を工夫していきます。

③「わかった！」を確実に（振り返りと朝の時間の活用）

授業終わりの「振り返り」でお子さん自身が成長を実感できるようにするとともに、朝の「モジュール学習」を有効に活用して基礎・基本を定着させていきます。

◎「心づくり」の成果と今後の取組

【成果指標】 ☆学校が楽しい…90% ☆自分や友達によさを見つけた…90%

	質問項目	A	B	C	D
児童	学校が楽しい。	57.0%	28.6%	7.0%	7.4%
	自分の「よいところ」を見つけることができる。	35.6%	38.8%	15.6%	10.0%
	友達の「よいところ」を見つけることができる。	61.2%	27.2%	7.7%	4.0%
保護者	お子さんは毎日楽しく学校に通っている。	46.3%	45.9%	6.6%	1.2%

※A…あてはまる・B…ややあてはまる・C…ややあてはまらない・D…あてはまらない

【成果】学校生活の安心感：毎日を笑顔で「楽しく通う」様子

保護者の皆様から見た「毎日楽しく学校に通っている」という項目では、肯定的な回答が92.2%となり、目標値を達成することができました。御家庭での温かい送り出しや日々の見守りのおかげで、子供たちが安心して学校に通えていることを大変嬉しく思っております。

【課題】学校の楽しさのさらなる向上と、自己肯定感・他者理解の育成

一方で、子供たち自身が「学校が楽しい」と答えた割合は85.6%（目標90%）と、目標に一步届きませんでした。また、「自分のよさを見つけた」が74.4%、「友達のよさを見つけた」が88.4%に留まり、自分や相手を肯定的に捉える力にも課題が見られます。

子供たちが日々の楽しさをより実感し、お互いのよさを認め合えるよう、今後も温かいアプローチを続けてまいります。

○課題の改善に向けた具体的な取組

①「自分が好き」を自信に（一人ひとりのよさを認める温かい価値付け）

子供たちの日々の活躍や頑張りを「おはよう黒板」などを通して確実に見取り、言葉にして褒めることで、自分を大切に思える自己肯定感を育んでいきます。

②「友達のよさ」を力に（御互いを認め合い、褒め合う環境づくり）

「よいところ見つけ」の活動を工夫し、カードに書いて可視化したりデジタルツールで共有したりしながら、みんなで認め合える温かい学級の雰囲気を作っていきます。

③「学校が楽しい」をみんなで（安心できる居場所と心の学習）

「静岡県版SEL」の活用や、不安に寄り添う丁寧な関わりを通じ、誰もが安心して過ごせる居場所を保障するとともに、トラブルをお互いの気持ちを想像し合う機会として生かしていきます。

◎学校・家庭・地域が一体となった「チーム学校」として

今回のアンケートでは、学校からの情報発信（98.4%）をはじめ、安全確保（95.8%）や相談体制（97.2%）、地域連携（98.1%）など、多くの項目で大変高い評価をいただきました。心より感謝申し上げます。

今後も学校・家庭・地域が手を取り合う「チーム学校」として、子供たちの健やかな成長と安心できる居場所づくりに全力で努めてまいります。

引き続き温かい御支援と御協力をよろしくお願い申し上げます。

